

ト、意見ヲ述ハ尚總理大臣ハ今日ノ實際ノ取扱ハ
ワキテ説明ニ奉案ノ必要ヲ認キ青本顧問官ト更ニ
局トスルハ總裁ヲ置カスレテ普通ノ一局(統計局恩給
局等)如キトナシ總理大臣ハ大臣名然ノ職務トシテ之
ヲ統理セラレテハ如何ト問ヒ總理大臣ハ副總裁ヲ置キ
カ爲ニモホレシヤハ不可ナリト述ハ昔川越顧問官モ亦一省ヲ置
ク方可ナラシム意見ヲ述ハ總理大臣ハ過度ノ制度トシテ
御賛成ヲトシテ希望ニ其他多少ノ議論アリテ後結局
本案可決ノコトニ決定シキ前十一時半總務局長
開キ引續キ本會後ヲ開カレタリ)

明治四十三年七月七日

午前十時議長ヲ官中ニ召サレ勅語ヲ賜ヒ
次ニ議場ニ臨御議長勅語ヲ奉讀シ總理
大臣及外務大臣ヨリ日露協約締結ノ次第及
其ノ内容ニ付詳細ナル説明アリ終テ入御引續キ
明治三十九年勅令第百六十三號中改正ノ件外一件ニ付
會議ヲ開ク

右勅語及日露協約全文ハ明治四十年七月締結
ノ分ト共ニ金庫ニ納ム